

海幕運第2955号

19.4.26

改正 平成19年11月22日 海幕運第7047号[第1次改正]
平成20年3月26日 海幕運第2292号[第2次改正]
平成22年3月16日 海幕運第2297号[第3次改正]
平成25年2月18日 海幕運第1789号[第4次改正]
平成27年11月30日 海幕運第1316号[第5次改正]
令和2年9月10日 海幕運第877号[第6次改正]
令和6年7月31日 海幕運第911号[第7次改正]

自衛艦隊司令官
各地方総監
教育航空集団司令官
練習艦隊司令官 殿
システム通信隊群司令
第1術科学学校長
海洋業務群司令

海上幕僚長

海上自衛隊気象予報業務の実施基準について（通達）

標記について、別冊のとおり定め、平成19年5月1日から実施する。
なお、海上自衛隊気象予報業務の実施基準について（通達）（海幕運第5698号10.12.8）は、同日付をもって廃止する。

添付書類：別冊
写送付先：部内全般

海幕運第2955号（平成19年4月26日）別冊

海上自衛隊気象予報業務の実施基準

海上幕僚監部

目 次

	頁
第 1 総 則	1
1 目 的	1
2 用語の意義	1
3 使用時刻	1
4 気象予報業務の内容	2
第 2 気象報等の収集	3
第 3 天気図等の作成	4
第 4 予報等の作成及び通報	5
1 予報等の作成、内容及び通報	5
2 注意報、警報の更新及び解除	5
3 天気図の配布	5
4 天気図等及び予報等の掲示	5
5 予報等の作成要領	5
6 予報等の実施者	5
7 部外への予報等	5
8 予報精度の検証	5
第 5 その他	6
1 予報等作成原簿	6
2 天気図等の保存	6
3 技術指導	6
4 気象予報業務の統括等	6
5 委任規定	7
別 紙	8
別紙様式第 1	10
別紙様式第 2	12
別紙様式第 3	13
別紙様式第 4	14
別紙様式第 5	15
別紙様式第 6	16
別紙様式第 7	17
別紙様式第 8	18
別 表	19
別 図	20

第1 総 則

1 目 的

この基準は、海上自衛隊において実施する気象予報業務について、必要な事項を定め、部隊の運用及び保安に資することを目的とする。

2 用語の意義

この基準において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

(1) 予 報

観測（自然科学的方法による現象の観察及び測定をいう。）の成果に基づく現象の予想の通報をいう。

(2) 警 報

部隊の保安及び運用上重大な影響を及ぼす気象現象について、警戒を促す予報をいう。

(3) 注意報

部隊の保安及び運用上影響を及ぼす気象現象について、注意を促す予報をいう。

(4) 気象情報

部隊の保安及び運用上必要な気象現象に関する情報をいう。

(5) 悪天情報

航空機の運航に重大な影響を及ぼす気象現象に関する情報をいう。

(6) 自衛艦隊司令部等

自衛艦隊司令部、護衛艦隊司令部、潜水艦隊司令部、各潜水隊群司令部及び海洋業務・対潜支援群司令部をいう。

(7) 海上部隊司令部

掃海隊群司令部、練習艦隊司令部及び各護衛隊群司令部をいう。

(8) 航空基地隊等

第23、第24、第25航空隊及び各航空基地隊（那覇、岩国航空基地隊を除く。）をいう。

(9) 基地隊等

各基地隊、各防備隊、稚内基地分遣隊、各基地分遣隊、仮屋磁気測定所及び各警備所をいう。

(10) 気象予報官

気象関連配置にあつて、幹部専門気象海洋課程を履修・聴講した又は幹部専門気象海洋課程と同程度の気象予報教育を受けた気象海洋幹部、准海尉である気象海洋員及び航空自衛隊気象幹部課程を履修した幹部をいう。

(11) 気象海洋データ系（JWS-N）

海上自衛隊通信規則（平成元年海上自衛隊達第42号）第10条に定める通信系のうち、気象及び海洋資料に関する通信に使用するものをいう。

(12) 統合気象サービス（JWS）

航空自衛隊クラウドシステムの個別サービスである統合気象サービスをいい、気象情報を収集・配布、天気図等の作成、ウェブ公開等を行う。

3 使用時刻

この基準において使用する時刻は、原則として日本標準時とする。

4 気象予報業務の内容

- (1) 気象報の収集
- (2) 天気図等の作成
- (3) 予報等の作成及び通報
- (4) 前各号に付帯する業務

第2 気象報等の収集

各部隊が行う気象報等収集の標準は、次のとおりとする。

部 隊		JWS提供資料	気象庁気象無線模写通報系(JMH)通報資料	対潜資料隊又は航空基地隊等の予報等	最寄りの気象官署の発表する予報等	備 考
自衛艦隊司令部等		△		○	○	1 自衛艦は、対潜資料隊の気象支援が得られる場合、省略することができる。 2 ○印は常時、△印は、必要に応じて収集を行う。 3 国外行動部隊は、気象資料の収集に関し、対潜資料隊の支援を受けることができる。
各地方総監部		△		○	○	
対潜資料隊		△		△	○	
第5航空群司令部 航空基地隊等 岩国航空基地隊		△			○	
基地隊等		△	△	○	○	
父島基地分遣隊		△		○	○	
海上部隊司令部		○ (在海上)	△	○	○	
自衛艦	JWS-Web 使用可能時	○	△	○	○	
	JWS-Web 使用不能時		○	○	○	
その他の部隊等		△		○	○	

第3 天気図等の作成

各部隊の天気図等作成の標準は、次のとおりとする。

部 隊	天 気 図 等 の 種 類	天 気 図 等 の 時 刻
自 衛 艦 隊 司 令 部 等 各 地 方 総 監 部 対 潜 資 料 隊	地上天気図	0300、0900、1500
	高層天気図（700hPa、 500hPa）	0900、2100
	断熱図	適宜
	そ の 他	適宜
第 5 航 空 群 司 令 部 航 空 基 地 隊 等 岩 国 航 空 基 地 隊	地上天気図	0300、0600、0900、 1200、1500、2100
	高層天気図	0900、2100
	気流図	0900、2100
	断熱図	0900、2100
	そ の 他	適宜
基 地 隊 等 父 島 基 地 分 遣 隊	地上天気図	0300又は0600、0900
	そ の 他	適宜
海 上 部 隊 司 令 部	地上天気図	0300又は0600、 0900又は1200
	高層天気図（700hPa、 500hPa）	0900又は2100
	そ の 他	適宜
自 衛 艦	地上天気図	0300又は0900

注：1 JWS及び模写受信機による受信等をもって上記天気図等の作成に替えることができる。

2 重大な影響を与える気象現象が予想される等必要な場合には、この標準にかかわらず適宜天気図等を作成するものとする。

3 自衛艦は、対潜資料隊から予報等気象支援を受ける場合、天気図等の作成を省略することができる。

第4 予報等の作成及び通報

1 予報等の作成、内容及び通報

別紙のとおり。

2 注意報、警報の更新及び解除

前項の各部隊が注意報又は警報を作成通報した場合、予想される気象現象の変化に応じて速やかに更新又は解除する。

3 天気図の配布

対潜資料隊は、午前1回、地上天気図に基地予報又は海上予報を添付し、各地方総監部、所要の部隊等に配布する。また、航空基地隊等は、午前、午後の1日2回、地上天気図に基地空域予報を添付し、所在の部隊に配布する。

なお、情報システムを利用して配信することによって配布に替えることができる。

4 天気図等及び予報等の掲示

対潜資料隊、航空基地隊等においては、最新の主要な気象報、天気図等、予報等を気象室に掲示又は情報システム端末上に表示するものとする。

5 予報等の作成要領

予報等の作成要領は、海洋業務・対潜支援群司令所定とする。

6 予報等の実施者

予報等の作成は、気象予報官が行うものとする。

7 部外への予報等

予報等は、気象庁の許可を受けた範囲内で部外へ通報することができる。

8 予報精度の検証

航空基地隊等は、飛行場予報における降水の有無について、予報と観測結果を比較し、予報精度を検証するものとする。

第5 その他

1 予報等作成原簿

予報等を作成通報する各部隊は、次の予報等作成原簿を備え、予報等を作成の都度、所要の事項を記入するものとする。

予報等作成原簿の名称	備え付ける部隊	原簿の様式
基地予報原簿	対潜資料隊	別紙様式第3
基地週間予報原簿	対潜資料隊等 航空基地隊等	別紙様式第4
海上予報原簿	対潜資料隊	適宜
飛行場予報原簿	航空基地隊等	別紙様式第5
基地空域予報原簿		別紙様式第3
注意報、警報原簿	対潜資料隊等 航空基地隊等	別紙様式第6
気象情報原簿		
悪天情報原簿	航空基地隊等	別紙様式第7
部外者への予報通報原簿 (第4-7項による通報)		様式は定めないが、次を明記する。 ①通報時刻、②内容、③予報を実施した者の氏名及び④通報先
予報精度検証原簿		別紙様式第8

注：別紙様式第5を除き、部隊等で予報項目の追加や変更が必要な場合は、適宜変更することができる。

2 天気図等の保存

(1) 天気図等の保存期間は、次のとおりとする。

種類	保存期間	保存部隊
収集気象報	3 か 月	対潜資料隊
受信天気図		
作成天気図	作成部隊所定	作成部隊
飛行気象予報	3 か 月	
予報等作成原簿	2 年	

(2) 保存期間の起算日は、次のとおり。

ア 予報等作成原簿（予報精度検証原簿を除く。）：翌年度4月1日

イ 予報精度検証原簿：翌年1月1日

ウ その他：作成、収集日の翌月1日

3 技術指導

海洋業務・対潜支援群司令は、部隊の実施する気象予報業務について技術指導を行うものとする。

4 気象予報業務の統括等

海洋業務・対潜支援群司令は、必要と認められる場合は、予報等を作成する部隊と調整し、

部隊が実施する気象予報業務のうち、予報等の作成及び通報について統括することができる。

5 委任規定

自衛艦隊司令官、各地方総監、教育航空集団司令官、練習艦隊司令官及び海洋業務・対潜支援群司令又はその指定する者は、この基準に定めるもののほか、気象予報業務に関する必要な事項を定めることができる。

予報等の作成、内容及び通報

部 隊	予報等の種類	作 成 標 準	予 報 区 域	予 報 時 間	予 報 項 目	通 報 先
対 潜 資 料 隊	基地予報	毎日1回以上	各総監部周辺	36時間又は48時間	気象概況、風、視程及び天気	総監部地区所在の部隊及び機関
	基地週間予報	毎週2回以上		7日間	毎日の天気	
	海上予報	毎日1回以上	別図による。	36時間又は48時間	気象概況、風、視程 天気及び波浪	JWS-N通信所及び必要とする部隊
	注意報 警 報	別表に定める気象現象が予想され、必要と認めた場合		/	対象となる現象又は状態	
	気象情報	必要と認めた場合				必要とする部隊
航 空 基 地 隊 等	飛行気象予報	要求のあった場合	別紙様式第1及び別紙様式第2による。ただし、経由地等の状況により、別紙様式第2は省略することができる。		必要とする航空機	
	飛行場予報	0600から2100までの間は、3時間ごとを発効時間とし作成する。ただし、気象に変化が認められる場合又は部隊の行動等の必要に応じ毎時作成する。なお、飛行作業等の状況により省略することができる。	飛行場周辺 (飛行場標点から概ね9km以内)	24時間	風、視程、天気及び雲	JWS-N通信所
	基地空域予報	毎日2回(午前、午後) (休養日については状況により省略することができる。)	基地周辺	36時間又は48時間	風、視程、天気、雲、 飛行場気象状態及び特記事項	所在の部隊及び機関
	基地週間予報	毎週2回以上		7日間	気象概況及び毎日の天気	
	注意報 警 報	別表に定める気象現象が予想され、必要と認めた場合		/	対象となる現象又は状態	所在の部隊及び機関 JWS-N通信所
	気象情報	部隊の運用又は保安上必要と認めた場合				所在の部隊及び機関
	悪天情報	航空機の運航に重大な影響を及ぼす活発な雷電、強い着氷、強い乱気流等が予想される場合、作成する。なお、飛行作業等の状況により省略することができる。	海上自衛隊航空機の行動空域	/	対象となる現象	必要とする部隊(航空機を含む。) JWS-N通信所

注： 自衛艦隊司令部等（潜水隊群司令部を除く。）、各地方総監部、海上部隊司令部、第5航空群司令部及び岩国航空基地隊については、部隊の状況により、適宜予報等を作成することができる。

なお、予報等を作成する場合、使用する予報等作成原簿及び保存期間については本実施基準第5に準ずるものとする。

飛行気象予報 (FLIGHT WEATHER FORECAST)				
運航諸元 〔 FLIGHT DATA 〕	無線呼出符号 〔 RADIO CALL SIGN 〕	機種及び機数 〔 TYPE AND NO OF A/C 〕	日付 (DATE)	
	出発予定時刻 (ETD)	出発時刻 (ATD)	到着予定時刻 (ETA)	
離陸予報 〔 TAKE OFF FCST 〕	滑走路気温 (R/W T) ℃	気圧高度 (P - A L T)	上昇中の風 (CLIMB WINDS)	
	備考 (REMARKS)			
航路予報 〔 ENROUTE FCST 〕	上層風等 (WINDS)			
	飛行高度における雲 〔 CLDS AT FLT LEVEL 〕 <input type="checkbox"/> なし (NO) <input type="checkbox"/> 時々あり (IN AND OUT) <input type="checkbox"/> あり (YES)	飛行高度における最小視程 (MNM VIS AT FLT LEVEL) _____ KM <input type="checkbox"/> 雲 (CLDS) <input type="checkbox"/> 煙霧又はちり煙霧 (HZ) <input type="checkbox"/> 降水現象 (PRECIPITATION)		
	最低シーリング (MNM CEILING) FT	最高雲頂 (MAX CLD TOPS) FT MSL	最低凍結高度 (MNM FZ LEVEL) FT MSL	
	雷 電 (TS)		乱 気 流 (TURB)	
	FEW		<input type="checkbox"/> CAT (C)	FBL
	SCT		<input type="checkbox"/> TS (T)	MOD
	NUMEROUS		<input type="checkbox"/> IN CLD (I)	SEV
	WITH HAIL			XTRM
	降水現象 (PRECIPITATION)		着 氷 (ICE)	
	RA, SHRA, DZ		<input type="checkbox"/> CLEAR (C)	FBL
	FZRA, FZDZ		<input type="checkbox"/> RIME (R)	MOD
	SN, SHSN			SEV
RASN		<input type="checkbox"/> MIXED (M)	XTRM	
備考 (REMARKS)				

飛行場予報 (TERMINAL) (FCST)	目的地(DESTINATION)		
	代替飛行場(ALTERNATE)		
	②	目的地(DESTINATION)	
		代替飛行場(ALTERNATE)	
	③	目的地(DESTINATION)	
		代替飛行場(ALTERNATE)	
備考(REMARKS)			
記 事 (BRIEFED) (AS ABOVE)	予報失効時刻 (VOID TIME) Z	延長した予報失効時刻 (EXTENDED TO) Z	気象予報官署名 (SIGNATURE OF WEATHER FORECASTER)
	電話によるブリーフィングの要 求地 (NAME OF AIR BASE REQUESTED BRIEFING BY TELEPHONE)	電話によるブリーフィングの 受領者 (PERSONNEL RECEIVED BRIEFING BY TELEPHONE)	備考(REMARKS)

運航諸元 { FLIGHT DATA }	出発予定時刻(ETD)	出発時刻(ATD)	到着予定時刻(ETA)
	③	③	③
	④	④	④
	⑤	⑤	⑤
	⑥	⑥	⑥
	⑦	⑦	⑦
	⑧	⑧	⑧
	飛行場予報 { TERMINAL FCST }	④	目的地(DESTINATION)
代替飛行場(ALTERNATE)			
⑤		目的地(DESTINATION)	
		代替飛行場(ALTERNATE)	
⑥		目的地(DESTINATION)	
		代替飛行場(ALTERNATE)	
⑦		目的地(DESTINATION)	
		代替飛行場(ALTERNATE)	
⑧		目的地(DESTINATION)	
		代替飛行場(ALTERNATE)	
備考(REMARKS)			

上層風等(WINDS)

- ②
- ③
- ④
- ⑤
- ⑥
- ⑦
- ⑧

基地予報、基地空域予報原簿用紙

基地予報 月 日 () I 基地空域					気象予報官		
概況							
	項目	飛行場 気象状態	風向、風速	天 気	視 程	雲	特記事項
予報時間							
基地予報 月 日 () I 基地空域					気象予報官		
概況							
	項目	飛行場 気象状態	風向、風速	天 気	視 程	雲	特記事項
予報時間							

注意報、警報、気象情報原簿用紙

	注意報 警報 情報	月 日 ()	気象予報官
通報先			
本文			

悪天情報原簿用紙

作成日時	本 文	気象予報官
月 日 I		

予報精度検証原簿用紙

気象予報士

年

検 証 指 数	1 か月平均												年平均
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
適中率 (降水の有無の適中率)													
「降水あり」予報の適中率													
「降水なし」予報の適中率													
見逃し率													
空振り率													
捕捉率													
一致率													

単位：%

※検証指数

適中率 (降水の有無の適中率) : 全予報数に対する総適中回数の割合

「降水あり」予報の適中率 : 予報が「降水あり」だった場合だけを抽出して、そのうち実況が「降水あり」となった割合

「降水なし」予報の適中率 : 予報が「降水なし」だった場合だけを抽出して、そのうち実況が「降水なし」となった割合

見逃し率 : 全予報数に対する「見逃し」回数の割合 (「見逃し」とは、予報が「降水なし」、実況が「降水あり」となった場合)

空振り率 : 全予報数に対する「空振り」回数の割合 (「空振り」とは、予報が「降水あり」、実況が「降水なし」となった場合)

捕捉率 : 実況が「降水あり」となった場合だけを抽出して、そのうち予報も「降水あり」だった割合

一致率 : 予報が「降水あり」だった場合だけを抽出して、そのうち実況が「降水あり」となった割合 (「降水あり」予報の適中率に同じ。)

注意報・警報発表標準

種別	注意報又は警報の種類（英文）並びに気象現象等の標準（24時間又は定められた時間以内に下の欄の気象現象が予想される場合）	
	注意報	警報
風	強風注意報（GALE WARNING） 平均風速が30ノット以上 （雨又は雪を伴う場合を含む。）	暴風警報（STORM WARNING） 平均風速が50ノット以上 （雨又は雪を伴う場合を含む。）
雨	大雨注意報（RAIN WARNING） 1時間に降水量が30ミリメートル以上 3時間に降水量が50ミリメートル以上 24時間に降水量が100ミリメートル以上	大雨警報（HEAVY RAIN WARNING） 1時間に降水量が50ミリメートル以上 3時間に降水量が80ミリメートル以上 24時間に降水量が150ミリメートル以上
雪	大雪注意報（SNOW WARNING） 24時間に降雪の深さが10センチメートル（舞鶴及び大湊地方隊警備区域にあっては30センチメートル）以上	大雪警報（HEAVY SNOW WARNING） 24時間に降雪の深さが30センチメートル（舞鶴及び大湊地方隊警備区域にあっては60センチメートル）以上
霧	濃霧注意報（DENSE FOG WARNING） 視程が陸上にあつては100メートル以下、海上にあつては500メートル以下となる濃霧が広範囲にわたって長時間持続する。	
雷	雷注意報（THUNDERSTORM WARNING） 落雷のおそれがある。	
津波及び高潮	津波注意報及び同警報（TSUNAMI WARNING） 高潮注意報及び同警報（HIGH TIDE WARNING） 最寄りの気象官署が津波及び高潮注意報・警報を発表した場合	

海上予報区域の区分

予報対象区域は、オホーツク海、北海道西方、北海道南東方、宗谷海峡、津軽海峡、津軽西口、津軽東口、陸奥湾、能登以北、若狭沖、山陰沖、三陸沖、本州東方、関東東方、関東南方、小笠原周辺、東海沖、本州南方東部、本州南方西部、紀伊水道、四国沖、内海、豊後水道、対馬周辺、五島南東、九州西方、九州南方、奄美周辺、奄美西方、沖縄周辺、沖縄西方及び石垣周辺とする。

